

就活 指南役は元企業人

どうすれば就職できるのか。就活生が一番知りたいことを知っているのは企業の社員。それなら、企業経験者に進路指導を頼めばいい。就職率を上げたい大学がそんな発想で生み出した就職支援が広がっている。



学生の相談に乗る金沢星稜大進路支援センターの職員＝金沢市御所町

文部科学省によると、今春卒業の大学生の就職率は94・4%。3年連続で改善した。円安や株高による景気回復や震災の復興需要などが影響し、企業が採用を増やしたとみられる。ただ、人気が高い大手は「厳選採用」で競争率は高い。大学にとって就職率の高さは学生集めの強みになる。元会社員を進路指導担当に雇うのは、他大学と差をつけたいからだ。

ミスマッチ防止期待

大学経営に詳しい大学マネジメント研究会の本間政雄会長は「企業のことを知らない大学職員より、元会社員に経験を踏まえて指導してもらった方が実践的。企業経験者を中途採用する大学は増える傾向にある」と話す。学生と企業とのミスマッチ防止も期待されている。

大手建設会社など4社で人事責任者を務めたコンサルティング

大学が発想転換 デイープ情報も熟知

金沢星稜大（金沢市）は、学内の就職サイト「ほしなび」を2010年に開設した。熱心に地元採用をしているか、大学から採用実績はあるか、入社した卒業生の評価は良いかなど企業を総合的に判断し、就職おすすめ度として無星から最高評価の三つ星までの4段階で示す。

判定するのは進路支援センターの職員で、7人中6人が就職情報を扱う人材派遣会社の元社員たち。石川、富山、福井の企業の採用担当者を仕事相手にしている。

会社説明会だけではわからない「企業のデイープ情報」も知っているという。同大経済学部4年の清水香耀子さん（21）は結婚後も働くつもり。志望した大手

4年間進路指導をする。岩

おススメ度	種別	地域
★★★★	株式会社	石川
★★★	会社	石川
★★	株式会社	石川
★		石川
		石川
		石川
		石川
		富山
		富山

金沢星稜大の学内就職サイト「ほしなび」の画面

金融機関や有名物流会社については、学内の就職サイト「ほしなび」を2010年に開設した。熱心に地元採用をしているか、大学から採用実績はあるか、入社した卒業生の評価は良いかなど企業を総合的に判断し、就職おすすめ度として無星から最高評価の三つ星までの4段階で示す。

人脈をフル活用

産業能率大（東京都世田谷区）の教員は6割以上が元会社員だ。伊勢丹、NTT、村田製作所の元社員らが1クラス約20人のゼミで4年間進路指導をする。岩

井善弘教授（経営学部）はあおぞら銀行（旧日債銀）出身。人脈を生かし、大手銀行支店の見学や採用担当経験者にエントリーシート（ライオン）の書き方指導を頼む。「エントリーシートの内容や面接時の服装などLINE（ライン）でひっきりなしに連絡がきます」

マナー教え効果

「面接官の見る目が変わりました」。桜美林大（東京都町田市）4年の浅野美裕さん（21）は、事務職をめざしている。指導したのは、日本航空（JAL）の国際線客室乗務員だった出口淳子さん（58）だ。

桜美林大は09年に、「キャリアアドバイザー」制度を導入。三菱商事や資生堂、富士フイルムなど大手企業の元採用担当者ら16人が就活生を支援する。就職率は導入前より10ポイント上がったという。「面接は第一印象が大事」。出口さんは、ドアの開閉や敬語の使い方などを指導した。「お辞儀は失礼いたします」と言っているから」「笑顔をやさしい」。浅野さんが面接で実践すると、面接官に「とても落ち着いた印象を受けました」と褒められたという。

例年、桜美林大から数人が就職する多摩信用金庫（本店・立川市）の小野和久人事部長は「マナーの良しあしは大きい。入室時の印象が悪いと、その後の質疑応答で取り戻すのは大変だ」と話す。また、企業や業界をよく知っていれば、評価は高いという。「なぜこの業界なのか、なぜうちの会社なのかは、一番聞きたいこと。研究していれば印象は良くなる」

（千葉卓朗、岡田昇）